

芭蕉

客きやく

あ

る

日ひ芭ば蕉しやう

に

響ひび

く

笑わら

ひ

か

な

平塚

路山

碧梧桐選『日本俳句鈔第一集下巻』（明治四二）所収。庭に芭蕉が、大きく青々とした葉を広げている。客は、庭に面した部屋に通され、そこで主人と向きあう。窓が開けられていて芭蕉の青々とした葉も馳走のひとつ。興が乗ってきて主客ともに高笑いをする、芭蕉の広葉に響く。そうとう大きな笑い声である。会うことの醍醐味が芭蕉の葉の顫えに見えるようだ。

【芭蕉・秋】

慶祝

『芭蕉の風景 上・下』（ウエッジ／
装丁 山口信博・玉井一平・宮巻麗／
イラスト 浅生ハルミン／
印刷製本 図書印刷株式会社）が
第五十五回造本装幀コンクールにおいて、
「日本図書館協会賞」を受賞いたしました。

澤

古今の俳諧俳句に本体を温ね
東西の詩文学芸に本質を照らす
只管に詠い真摯に読み
闊達なる一座を建立せん

令和4年8月号
通巻第269号
創刊二十二周年記念号
特集／令和三年の澤の俳句

澤 8 月号 目次

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 新盆 十五句……………10

高橋睦郎 季語練習帖 第一五二回……………12

潺潺集 小澤 實選……………14

新樹明り 鶴見澄子

父 野崎海芋

友 廣瀬 武

アンモナイト 中山雅弘

あかせうびん 松野篤子

鉄舟 周藤迪之相

夜逃げ屋 川上弘美

小枝 天野正子

御手 眞瀬雪延

蟻一行 長谷川照子

遺品 村上佳乃

壺 結城あき

丸 石橋志野

鮑 馬場尚美

大小 桐生真地

メッシュ 鳳 佳子

汁 栗生

特集／祝・受賞

俳人協会第五回新鋭俳句賞準賞「大樹」金澤諒和

作品「大樹」／詠み続ける 金澤諒和……………20

教え子を詠むということ 町田無鹿……………21

俳人協会第八回新鋭評論賞正賞

「虫愛ずる人、犀星」池田瑠那

散文と言う怪物 池田瑠那……………23

「虫愛する人、犀星」に流れる詩情 井上雅恵……………24

第二十三回山本健吉評論賞

「写生という奇怪なキメラ」柳元佑太

浅薄さの埋め合わせとして 柳元佑太……………26

キメラの行方 吉川千早……………27

俳句を豊かにするもの

十四年振りの電話から 井上踊三……………29

特集／令和三年の澤の俳句

澤四十句を選ぶ

神野紗希 四十句選……………30

小澤 實 四十句選……………32

対談 デイストピアにようこそ

俳句における澤調とは何か 神野紗希／小澤 實……………34

それぞれに違う面白さ 小津夜景……………76

力をひと息に 黒岩徳将……………80

清濁／聖俗のスペクトル 堀切克洋……………84

俳句、または見たことのない船影 正岡 豊……………88

人は物ともにいる 佐藤涼子……………92

令和三年「澤の春夏秋冬」鑑賞 白崎俊火……………96

遠く、けれど親しいもの 花岡安佐枝……………100

令和三年と言う時代をどう捉えたか 山口土器……………104

新たな流れ——新人会員展望 川又憲次郎……………108

とめどなき源泉——新人会員展望 半田羽吟……………110

「令和三年の澤の俳句」一句鑑賞……………112

澤潺潺賞・澤新人賞・澤叢林賞……………124

澤三賞選考座談会

ベテランの底力、新人の才気……………126

小澤 實／左官屋宇兵衛／馬場尚美／村上佳乃

望月とし江（司会）

澤潺潺集特別賞 美倉かなな

大蛇 小澤 實選……………139

澤潺潺賞	へらへら	新澤 岳	140
神さまがほほえむとき		高橋和志	141
澤潺潺賞	戦陣訓	吉田邦幸	142
慰めはチャールダーシ		東徳門百合子	143
澤新人賞	丘の上	木内縉太	144
窓を穿つ		池田瑠那	145
澤新人賞	伸びし皮	今朝	146
いのちと向きあう		オオタケシゲヲ	147
澤新人賞	隕石	柳元佑太	148
はにかみながら		村越 敦	149
澤叢林賞	三人まで	根岸哲也	150
正直な人		野崎海芋	151
特集／『芭蕉の風景』を読む			
作者の側から作品を読むことの達成		堀切 実	152
ずらして、かさねて、めぐりくる		神野紗希	156

作意と享受	大室ゆらぎ	160
一行に驚き、一回に驚き	赤岩 覺	162
『芭蕉の風景』春夏秋冬を旅して	磯貝一沙	163
追いかけて日光、裏見ノ滝	えんどうようこ	164
グーグルマップで旅する『芭蕉の風景』	新澤 岳	165
『芭蕉の風景』正誤表		166
令和四年度 新同人紹介		168
同人二〇二一年の一句		170
澤俳句鑑賞	267	
山崎祐子		176
森下秋露		178
窓		
俳書を読む		
坪内稔典『早寝早起き』／千々と恵美子『飛翔』／渡辺誠一郎『赫赫』／佐藤りえ『ぺこぼこ宇宙』／豊里友行『う		
いるす籠り』	木内縉太	180

詩文学芸書を読む

平井美帆『ソ連兵へ差し出された娘たち』

根岸哲也……………182

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳壇」各六月号 今朝……………184

俳句結社誌を読む

「小熊座」令和四年二月号 梶等太郎……………186

通信句会の秀句 蔵田かをり……………188

潺湲集巻頭作家インタビュー 片岡昌子……………190

澤集巻頭作家エッセイ 吉川千早……………191

同人代表句 嶋田恵一／吉田星潮……………192

同人一句鑑賞 梶等太郎／小川正廣……………193

澤衍……………194

澤四十句 小澤 實選……………196

選後独言 自分で開ける扉 小澤 實……………198

澤集 小澤 實選……………200

井上雅恵／楠えり子／平嶋さやか／吉川千早／江藤鳥歩／大室ゆらぎ／蔵田かをり／相澤亮平／伊藤泰子／山岸樵鹿／大和寿美子／川又憲次郎／山下希記

新入会員……………232

消息……………233

正誤表／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………234

定例句会のご案内／7月号発送報告……………235

澤俳句叢書一覧……………237

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／澤基金募集のお願い……………238

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………239

澤句会・カルチャー一覧……………240

広告……………241

後記……………246

デザイン 玉井一平

澤
令和4年8月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円

表紙／小澤
實著『秀句三五〇選友』より